

報道資料

令和3年7月28日(水)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:増井・尾上
 報道機関専用電話:0742-27-8722(ダイヤルイン)内線:3132、3220
 一般相談電話:0742-27-8561
 福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:安川・大西
 電話:0742-27-8935(ダイヤルイン)内線:3109、3110
 総務部知事公室 防災統括室 担当:中野・小原
 電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者の状況について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者が52例(県内感染者8824~8875例目、うち奈良市発表事例7例)発生しました。また新型コロナウイルス感染症の感染者の再陽性者が1例(県内感染者6319例目)が発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実にしております。

- ・他府県発表との重複 : 264 例 (前日比+3)
- ・感染者数累計除外分 : 124 例 (前日比+1)
- ・死亡 : 133 例 (前日比+0) ・再陽性 : 9 例 (前日比+1)

1)入院病床及び宿泊療養室等の状況(午前9時時点)

※担当:地域医療連携課

重症対応病床	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
運用病床	32	5	±0	27	16%
確保病床	34	5	±0	29	15%

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
奈良県立医科大学 附属病院	14	12	2	±0	10	17%
奈良県総合 医療センター	6	6	0	±0	6	0%
民間病院 E	6	6	3	±0	3	50%
南奈良総合 医療センター	2	2	0	±0	2	0%
奈良県西和 医療センター	2	2	0	±0	2	0%
市立奈良病院	2	2	0	±0	2	0%
大和高田市立病院	2	2	0	±0	2	0%
計	34	32	5	±0	27	16%

入院病床	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
運用病床	377	110	-5	267	29%
確保病床	448	110	-5	338	25%

※ 重症対応病床を含む

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
奈良県立医科大学 附属病院	80	57	8	-2	49	14%
奈良県総合 医療センター	74	46	11	-1	35	24%
南奈良総合 医療センター	44	24	5	±0	19	21%
奈良県西和 医療センター	37	37	13	+1	24	35%
市立奈良病院	34	34	15	±0	19	44%
(独)国立病院機構 奈良医療センター	34	34	4	-1	30	12%
生駒市立病院	16	16	9	±0	7	56%
済生会中和病院	15	15	5	-2	10	33%
民間病院 A	13	13	3	-1	10	23%
大和高田市立病院	12	12	0	-2	12	0%
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	12	12	4	+1	8	33%
民間病院 B	12	12	8	+1	4	67%
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	11	1	-2	10	9%
国保中央病院	9	9	3	+1	6	33%
済生会奈良病院	6	6	5	±0	1	83%
民間病院 C	6	6	4	-1	2	67%
民間病院 D	6	6	2	±0	4	33%
民間病院 E	6	6	3	±0	3	50%
宇陀市立病院	5	5	1	±0	4	20%
民間病院 F	5	5	0	±0	5	0%
民間病院 G	5	5	2	+1	3	40%
民間病院 H	2	2	1	±0	1	50%
民間病院 I	2	2	2	+1	0	100%
民間病院 J	2	2	1	+1	1	50%
計	448	377	110	-5	267	29%

※重症対応病床を含む

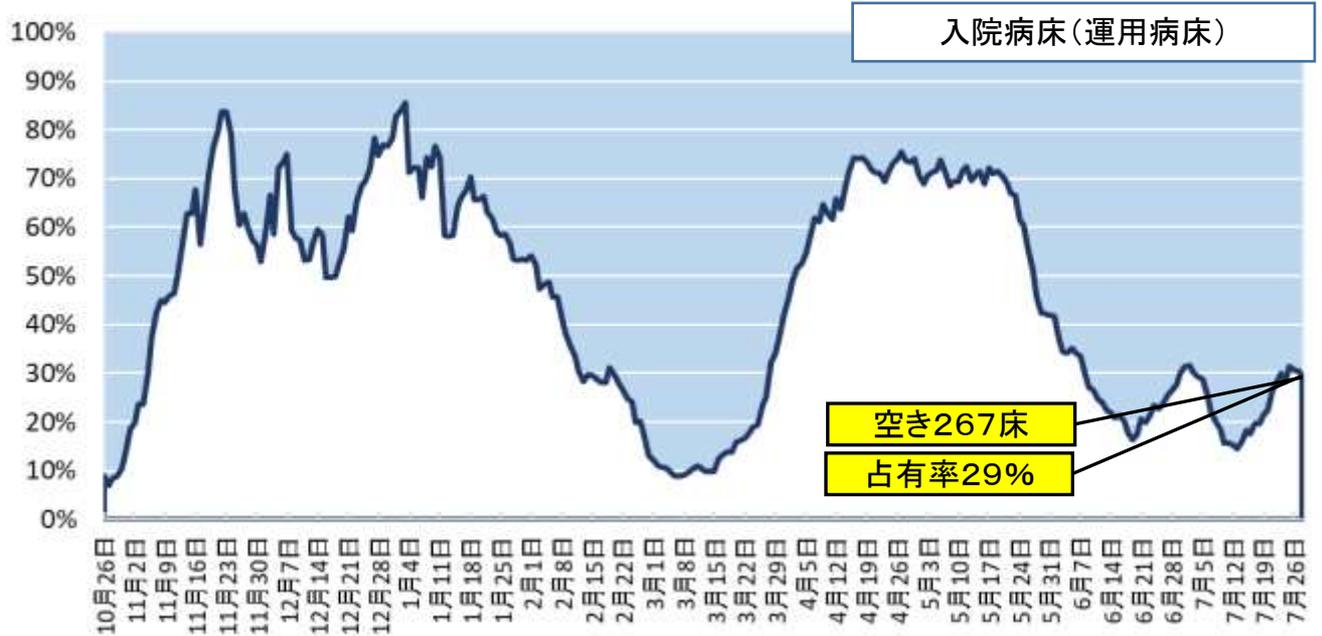
宿泊療養	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
運用室数	711	94	+17	617	13%
確保室数	717	94	+17	623	13%

※ 運用室数と確保室数の差は、設備のメンテナンスによるものです

運用室数 施設別内訳	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
東横INN 奈良新大宮駅前	113	19	+7	94	17%
(旧)ホテルフジタ奈良	86	12	-2	74	14%
ビジネスホテル大御門	53	0	±0	53	0%
グランヴィリオホテル奈良 －和蔵－	166	25	+4	141	15%
スマイルホテル奈良	148	18	+3	130	12%
奈良ワシントンホテル プラザ	145	20	+5	125	14%
計	711	94	+17	617	13%

社会福祉施設等 療養	療養者数 (名)	対前日 (名)
－	0	±0

参考 占有率の状況



2)感染者数の状況(午前9時時点)

7/28に新たに判明した感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	52	0	0	52

7/28現在の感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	276	5	65	206
対前日(名)	+18	±0	+4	+14

7/28現在の感染者数累計	治癒	死亡 (※2)	入院・療養中 (※1)	入院・入所待機中、 自宅療養中	現在感染者数 F (=A-B-C) (=D+E)	
A	B	C	D	E		
人数(名)	8,875	8,466	133	217	59	276
対前日(名)	+52	+34	±0	+12	+6	+18

(※1) 宿泊療養では複数名が1室に入室することがあるため、使用病床数及び入所室数等の合計と一致しない場合があります

(※2) 直接の死因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった14例を含みます

※治癒された1名の再陽性が確認されたため、集計上「現在感染者数」及び「入院・療養中」に1増、「治癒」に1減しています。

※治癒者については、疾病対策課ホームページで定期的に掲載します

3) 感染者の概要

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
8824例目	10代	男性	広陵町	生徒 (県内)	軽症	調査中
8825例目	40代	男性	香芝市	会社員 (県内)	軽症	県内感染者と接触
8826例目	20代	男性	大和高田市	会社員 (県内)	軽症	調査中
8827例目	40代	女性	大和高田市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
8828例目	20代	女性	大和高田市	無職	軽症	調査中
8829例目	50代	女性	橿原市	会社員 (県内)	軽症	大阪府内感染者と接触
8830例目	20代	女性	橿原市	アルバイト (県内)	軽症	調査中
8831例目	30代	男性	香芝市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
8832例目	20代	男性	香芝市	学生 (大阪府内)	軽症	調査中
8833例目	20代	女性	王寺町	アルバイト (大阪市内)	軽症	調査中
8834例目	50代	女性	香芝市	無職	軽症	調査中
8835例目	20代	女性	香芝市	学生 (大阪府内)	軽症	調査中
8836例目 ※大阪府重複例	40代	男性	橿原市	会社員 (大阪市内)	無症状	調査中
8837例目	20代	女性	王寺町	医療従事者 (県内)	軽症	調査中
8838例目	40代	男性	大和高田市	会社員 (県内)	軽症	調査中
8839例目	40代	男性	香芝市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
8840例目	50代	女性	大和高田市	無職	無症状	家庭内感染
8841例目	20代	女性	橿原市	団体職員 (県内)	無症状	県外感染者と接触

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
8842例目	20代	女性	橿原市	団体職員 (県内)	無症状	県外感染者と接触
8843例目	10代	男性	広陵町	学生 (大阪府内)	軽症	調査中
8844例目	20代	男性	橿原市	自営業 (県内)	軽症	調査中
8845例目	40代	男性	香芝市	会社員 (大阪府内)	軽症	調査中
8846例目	50代	女性	大和高田市	無職	軽症	家庭内感染
8847例目	20代	女性	大和高田市	会社員 (大阪市内)	軽症	家庭内感染
8848例目	30代	男性	香芝市	会社員 (県内)	軽症	県内感染者と接触
8849例目	20代	女性	宇陀市	会社員 (大阪市内)	無症状	大阪府内感染者と接触
8850例目	20代	女性	広陵町	会社員 (県内)	軽症	調査中
8851例目	30代	男性	田原本町	学生 (大阪市内)	軽症	調査中
8852例目	40代	女性	生駒市	パートタイマー (京都府内)	軽症	県内感染者と接触
8853例目	40代	男性	大和郡山市	会社員 (県内)	軽症	調査中
8854例目	10代	男性	生駒市	学生 (県外)	軽症	調査中
8855例目	50代	男性	安堵町	会社員 (県内)	軽症	調査中
8856例目	10代	女性	天理市	生徒 (県内)	軽症	調査中
8857例目	40代	男性	斑鳩町	会社員 (京都市内)	軽症	調査中
8858例目	30代	男性	大和郡山市	会社員 (県内)	軽症	調査中
8859例目	30代	女性	生駒市	学生 (大阪府内)	軽症	調査中

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
8860例目	40代	男性	平群町	会社員 (県内)	軽症	調査中
8861例目	10代	男性	大和郡山市	生徒 (県内)	軽症	家庭内感染
8862例目	40代	女性	大和郡山市	無職	軽症	家庭内感染
8863例目	50代	女性	大和郡山市	パートタイマー (県内)	軽症	家庭内感染
8864例目	20代	女性	生駒市	会社員 (大阪府内)	軽症	県外感染者と接触
8865例目	20代	女性	天理市	無職	無症状	家庭内感染
8866例目	20代	男性	天理市	アルバイト (県内)	軽症	調査中
8867例目	30代	男性	生駒市	アルバイト (大阪府内)	軽症	調査中
8868例目	20代	男性	天理市	会社員 (県内)	軽症	大阪府内感染者と接触

4) 感染者(再陽性者)の概要

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6319例目 (再陽性)	30代	男性	天理市	無職	軽症	調査中

5) 感染者数除外例の概要

なし

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いします。
また、関係先の撮影に際し、映像や画像により個人や事業者が特定されることのないよう、ご配慮をお願いします。

○県の対応・発熱等の相談について

○ 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。

○ 発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

○ 発熱等の症状がない場合でも、感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

○ 奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象

★ 症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方
(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。)

・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内)

・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方

・医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧 帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

－ 不当な差別や偏見をなくしましょう －

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方々、濃厚接触者、医療従事者等やその家族、その属する施設・機関に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

県民・県外のみなさまへ

本県では、高い危機意識を持ち続けながら、感染拡大を抑え、全力で命を守る取組を進めるため、「緊急対処措置」を実行しています。

7月に入り、大阪において、感染拡大の兆しが見られます。また、最近の本県における感染動向等から、みなさまにも特に下記の取組の徹底をお願いいたします。

○往来について

- ・不要不急の大阪との往来は避けましょう
- ・仕事や学校で大阪に行くときでも、寄り道せずまっすぐ帰りましょう
- ・まん延防止等重点措置区域など、感染が拡大している地域からの不要不急の来県を自粛してください

○仕事や事業所について

- ・体調不良時は、出勤しない
- ・換気、マスクの着用を徹底

○友人等との交流について

- ・感染拡大地域での飲み会、旅行、パーティーはできるだけ自粛
- ・マスクを着用せず対面する機会を徹底的に避ける
- ・飲食は感染対策をしている店舗で、多人数・長時間は避け、大声での会話はしない

○夏休みについて

- ・夏休みは、県内で家族と過ごしましょう
- ・帰省する前は、余暇活動を控える
- ・帰省したら、家族で静かに過ごす
- ・ふだん同居していない人とマスクを着用せず対面する機会を避ける

○家庭内感染を防ぐために（症状が出てから）

- ・「空間的分離」。過ごす場所を分けましょう
- ・「時間的分離」。過ごす時間をずらしましょう
- ・同時に同じ場所にいるときは、お互いマスクをつけましょう
- ・手が触れる共有部分の消毒、手指衛生をしましょう
- ・部屋は、適宜窓をあけて換気しましょう
- ・衣服は洗濯、食器は洗浄しましょう。洗った後の手指衛生は忘れずに
- ・ゴミは密閉して捨てましょう